

ませぐり

議会だより
No. 176



道路拡幅 (病院横) 2

天空会館に安置室設置 3

ここをどうする!?(7人が一般質問) 6



路を拡幅 路の整備へ!!

道路改良工事等に5370万円

6月定例会は6日から14日まで、9日間の会期で開催しました。総務建設・文教厚生各常任委員会および予算審査特別委員会において、町長提案の条例案や補正予算、専決処分など計13議案を審査。また最終日の本会議にて、すべての議案を原案のとおり可決しました。

質疑応答は、主なものを要約したものです。各議案に対する賛否一覧を5ページに掲載しています。

工事の対象となる道路は、篠栗駅から西に向かい、踏み切りを越えてすぐ東西に伸びる道路である。

長年、車が離合するだけの余裕がなく、歩道も整備されていないため、安全上問題があった。今回、近隣病院との協議が整ったことにより、道路工事費4600万円と、道路拡幅による立木の移転補償費770万円が計上された。

なお、今回の工事は暫定的なもので、その後病院の建て替えがなされた後、残りの工事を行い、完成となる。

問 道路の幅員は。

答 路肩まで入れると6.5m。歩道も含めた全体は8.5m。

問 工事における財源は。

答 道路改良工事費は、公共施設等整備基金を活用する。

※公共施設等整備基金とは

公共施設の建設や道路の整備などのために町が積立てたもの。

町議会では、条例等の議案を2部門の常任委員会に分かれ審議しています。

総務建設委員会

(総務・財政・まちづくり・税務・産業観光・都市整備・会計課など)

◎松田國守 ◎大楠英志 荒牧泰範 横山久義
村瀬敬太郎

文教厚生委員会

(住民・健康・福祉環境・こども育成・上下水道課および教育委員会)

◎後藤百合子 ◎草場謙次 阿高紀幸 阿部寛治
今長谷武和 飯田浩二

◎委員長 ◎副委員長

消防団条例を改正

改正の主な内容は、緊急事態の際に、町長が消防団員の定員の範囲内で副団長、分団長、班長および団員の定数を変更できるようにしたもの。

問 分団長、班長、団員の定数まで変更する必要があるのか。

答 大変稀なケースだが、震災等の非常時に、団員の一部分が行方不明になり生存確認ができない等の状況下で、代行の形よりも条例に則った運用を行いたい。

問 歳出予算の変更を伴う条例制定に問題はないか。

答 既定の予算額からの支出であり、不足分については、改めて補正予算を組む。

病院横道 安全な道



国民健康保険税の 条例改正

条例改正

国民健康保険から後期高齢者医療への移行で、単身世帯となる世帯について5年間の世帯平等割が2分の1軽減されていた。
この改正でさらに3年間延長し軽減割合が4分の1となる。平成25年度分の国民健康保険税から適用される。

天空会館の条例改正

葬祭場4階展望場に安置室を設置。
葬儀を行わずご遺体を安置して火葬のみ(直葬)を行うことができるようになった。
審査の中で、民間の様な経営感覚をもって、事業を行っていただきたいとの意見があった。

直葬料金の一例

4階使用料	20,000円
寝棺	49,350円
ドライアイス	7,350円
枕飾り	9,450円
霊柩車	23,100円
合計	109,250円

一般会計補正予算の主な歳入・歳出は表1および表2のとおり。
特別会計は、すべて人事異動等による人件費の減額補正である。

(表1) 歳入の主なもの

(万円未満 四捨五入)

地方交付税（普通交付税）	751万円
県支出金（介護基盤緊急整備補助金）	164万円
公共施設等整備基金繰入金	4600万円

(表2) 歳出の主なもの

中町・津波黒線工事費、移転補償費（病院横道路拡幅）	5370万円
人事異動等による人件費	1133万円
介護基盤緊急整備補助金（さくら荘にスプリンクラー設置）	164万円
国民健康保険特別会計への繰出金	△666万円
後期高齢者医療特別会計への繰出金	△533万円

各会計補正予算額

会計	補正額	補正後予算額
一般会計	5515万円	89億3331万円
特別会計		
国民健康保険特別会計	△666万円	31億8873万円
後期高齢者医療特別会計	△533万円	3億4879万円
流域関連公共下水道事業特別会計	△31万円	8億7810万円
水道事業会計		
収益的収入支出	△658万円	5億548万円

24年度一般会計補正予算 3月27日専決処分

24年度の津波黒地区水路改修事業1940万円と福岡地区水道事業団出資事業473万円の年度内完了が難しいため、翌年度に繰越。

25年度国保特別会計補正予算 5月20日専決処分

24年度国保特別会計に赤字が生じたため、25年度一般会計から8000万円を繰上充用。

※専決処分とは

緊急で、議会を招集する時間がない場合などに限り、議決をせずに町長自らが決めること。
専決処分した場合は次の議会で報告し、承認を求めなければならない。

糟屋郡篠栗町・外
一市五町財産組合
の規約の変更

（変更前の議員定数）篠栗町、福岡市、久山町、粕屋町は各2人、宇美町、志免町、須恵町は各1人の計11人
① 組合議会の議員の定数は7人とし、関係各町から一人を選出する。

② 組合の経費は、組合の財産から生じる収入その他の組合の収入をもって充て、不足するときは、関係市町が均等に負担する。

問 財産組合が解散したときの財産の権利はどうなるのか。

答 これまでの慣例でいうと財産に対する権利は、新しく組織する自治体の数に均等に対応される見込みである。

問 財産組合の面積、そのうち本町内の面積は。

答 財産目録の閲覧はできるか。

答 全体の面積は450ha、うち本町の面積は約200ha。閲覧は可能。

問 今回の負担割合の変更により、毎年の負担金が軽減する他市町の考えはどのようなか。

答 そのことについては組合の議会や運営協議会では、特に申しない。また負担金が増額する町においては、環境を大事にするという観点で受け入れに理解を示している。

反対討論

横山 久義

財産組合議会の定数および経費の負担割合を変更することに伴い、規約の変更が生じたため、議会の議決を求められたものである。

現在の議員定数は11名であるが、篠栗町は2名で、議員数の比率で負担金および同組合が有する450haの財産配分が決定されている。

つまり、篠栗町は11分の2の負担と同率の財産権を所有していることになるが、今回の改正で、経費負担が7分の1に軽減される反面、財産権も同じ割合に削減されるだろうとのことだった。

町の財産が失われるのを議会人として容認することは出来ない。従って、本議案に反対する。

委員会研修

「手にとって見てもらう」
石川県津幡町議会広報を視察
5月22・23日 議会広報
編集特別委員会



津幡町は、金沢市から車で約20分。人口3万7千人の町で、金沢市のベッドタウンとして発展。

津幡町議会は、議会広報全国コンクールで何度も入選を果たしている。その編集技術を学んだ。

予定時間を大幅に超える意見交換のなか、編集理念は実にシンプルで、「読んでもらうより、まず見てもらう」を念頭におき、短く分かりやすい文章、具体的な見出しの編集を心がけておられる。

本町の議会だよりも、町民の皆様のご意見やご提案を積極的に取り入れ、より親しまれる、開かれた議会広報作成に向け、研鑽に努めてまいります。

宗像市・外2市1町鳥獣加工
処理施設を視察
(宗像市・福津市・宮若市・岡垣町)
5月21日 総務建設
常任委員会



有害鳥獣対策として、宗像市が中心となり建設された鳥獣加工処理施設を視察した。

平成25年度 小中学校
学校教育連絡協議会
6月3日 文教厚生
常任委員会

町教育委員、各課関係者、文教厚生常任委員等出席のもと、学校教育連絡協議会が開催された。協議会では各学校経営の重点および特色ある教育活動について、各小中学校校長の報告を受けた。



議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
6 月 定 例 会	24 平成24年度一般会計補正予算(第8号)の専決処分	全員賛成
	25 篠栗町税条例一部改正の専決処分	全員賛成
	26 篠栗町国民健康保険税条例一部改正の専決処分	全員賛成
	27 篠栗町消防団条例一部改正の専決処分	全員賛成
	28 平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の専決処分	全員賛成
	29 篠栗町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定	全員賛成
	30 篠栗町葬祭場の設置及び管理に関する条例の一部改正	全員賛成
	31 糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合理約の変更	賛成10：反対1
	32 平成25年度一般会計補正予算(第1号)	全員賛成
	33 平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全員賛成
	34 平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	全員賛成
	35 平成25年度流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成
36 平成25年度水道事業会計補正予算(第1号)	全員賛成	

7人が一般質問

7人が一般質問

1. 飯田 浩二 議員……………7
 - ・ 町道の危険箇所における安全対策は
2. 後藤 百合子 議員……………8
 - ・ リース方式によるLED照明の導入は
 - ・ 子ども子育て会議は
 - ・ 認知症サポーターキャラバンの推進は
3. 村瀬 敬太郎 議員……………9
 - ・ 防災対策の進捗状況は
 - ・ 旧道の補修計画は
4. 松田 國守 議員……………10
 - ・ 総合計画の目標人口を問う
5. 大楠 英志 議員……………11
 - ・ 道州制を問う（町長としての課題 その1）
 - ・ 山間地域振興の方策は（町長としての課題 その2）
 - ・ 国との連携について（町長としての課題 その3）
6. 横山 久義 議員……………12
 - ・ 休耕田に太陽光発電を導入する考えは
 - ・ バイオマスボイラーをゴミ処理施設で活用しては
7. 荒牧 泰範 議員……………13
 - ・ 幼児期からの英語教育を望む

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会の中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。

町道の危険箇所における安全対策は

町長「積極的に協議していく」



飯田 浩二

このような事故は、児童だけでなく児童の安全を見守っていただいている保護者にも危険が及び可能性がある。

中町焼却場線、交番裏の交差点では、数十件の接触事故が発生している。ひどい時は車がガードレールに乗り上げるといった事故も起きる。

【問】

【答】町長】 18の対策箇所のうち、篠栗町が事業主体の箇所は10箇所となり、そのうち、9箇所はすでに対策を完了している。

【問】

【答】町長】 「ゾーン30」については、粕屋警察署から尾仲地区と和田地区に二つの模範エリアを提供してある。施行方法やスケジュールなどの打ち合わせを行っている。模範エリアで安全対

また、下町若杉線の一部も、いつ事故が発生してもおかしくない状況である。福岡市博多区の板付小学校区では、生活道路の交通事故を防ぐため、特定区域の最高速度を時速30キロに制限する「ゾーン30」が導入されている。導入後の効果はきめんどと言われている。篠栗町も一部通学路から外れている道路で、児童・生徒が登下校する町道の危険箇所に「ゾーン30」を導入してはどうか。



交番裏交差点

【問】

【答】町長】 二つの箇所も含めて積極的に協議していく。後回しにするという事はない。

リース方式によるLED照明の導入は

町長「研究の対象と考える」



後藤 百合子

問……………

各公民分館においても、個別に発注するより、町が一括してその業務を代行できないか。

答【町長】

今のところ公民館整備補助金の対象外となっているので、各行政区での対応をお願いしている。

問……………

街路灯や防犯灯などは。

答【町長】

町内広範囲にわたるもので、その設置については、設置費用のみならず耐久性や補修費用等の設置後の財政負担も十分考慮し、「リース方式」も研究の対象と考えている。

増すと予想される。

答【町長】

電気料金の削減はできるが、多くの施設において職員で管理運営している本町では、かえって財政上の負担が

子ども子育て会議は

町長「10月頃をめどに準備する」

問……………

地方版子ども・子育て会議設置が課せられている。子育て家庭のニーズをより一層反映できる子育て当事者等をメンバーとした合議制機関を、新たに設置

答【町長】

今年度10月をめどに設置する準備を進めている。

平成24年度から「待機児童解消先取りプロジェクト」に参加し、本町の地方裁量型認定こども園2園に入所する母子父子家庭、兄弟児同時入所の家庭の保育料軽減を図った。

また、本年度からは、学童保育も、同認定こども園2園に入所する児童の保育料を町水準とし、子育て家庭の方々には、認可保育所や町立児童館とは別の新しい選択肢として提供する

今後どのような施策を考えてあるか尋ねる。

同時に、就学前から小

中学校就学以降の児童を含め、継続的な施策を講じる体制づくりを検討していく。

認知症サポーターキャラバンの推進は

町長「高齢者が安心して暮らせるよう推進する」

防災対策の進捗状況は

町長「着々と充実している」



村瀬 敬太郎

問.....

防災関連の質問を過去にしているが、以下の進捗状況はどうか。
①住民参加が容易な形での防災訓練の実施
②防災マップの更新・配布
③被災者支援システムの導入
④災害時の関係各課の連携体制の構築
⑤自主防災組織結成の促進

行政区単位で地域

特性に応じた訓練が有効と考えており、自主防災組織を中心とした訓練を支援する。

②校区ごとに防災マップを作成し、今年度末を自途に全戸に配布する。

③被災者支援システムは、セキュリティや既存システムとの互換性に問題があり、導入に至っていないが引き続き検討を行う。

④災害時の関係各課の連携体制の構築は、気象状況、災害状況に応じて段階的に対応する。災害対策本部設置時には、迅速な行動ができる体制を確保している。

⑤自主防災組織結成を平成23年度から支援している。
着々と充実が図ら

れ、その一つが、福岡県のモデル地区に選ばれている。

問.....

地域防災計画の見直しの方向性を尋ねる。

答【町長】

地域防災計画見直しの方向性は、昨今の災害特性と地理的要因を把握した実効性の高い計画を策定する。「自助、近助、共助、公助」を基本とし、自主防災ネットワークの構築や災害時要援護者の避難支援対策の充実などを重点的に行う。

旧道の補修計画は

町長「状況に応じた補修を行う」
都市整備課長「すぐに対応する」

問.....

町道上町・水車橋線（旧篠栗街道）の篠栗地区では整備が遅れており、水路や路側部分でコンクリートの劣化が進んでいる。
都市計画マスタープラン修正に当たり、町長は整備に向けた検討を表明しているが、プラン実施には、なお相当の時間がかかると思われる。

全を確保したい。

問.....

この道路の補修に関して、複数の区から要望が出されていると聞いているが、いつ補修するのか。

答【都市整備課長】

できる所は、すぐに対処すると、区長に報告している。

答【町長】

老朽化による不具合は、マスタープランに影響がないよう、状況に応じた補修により安



劣化した路側

総合計画の目標人口を問う

町長「厳しい目標であるが、不可能な数値ではない」



松田 國守

問 地方公共団体に義務付けられていた「総合計画基本構想策定」が23年度に改正され、義務付けが廃止となった。これを受けてわが町は、コンサルタント任せでない職員の手作りによる第5次篠栗町総合計画「ささぐりみんなの道標(まちしるべ)」が策定された。計画期間は、これまでの10カ年を5カ年とし、シンプルでコンパクトであるが、飾り物でない実行性の高い画期的な計画となっている。

答【町長】 生産年齢人口の中核をなす20歳代〜40歳代の人の流入を図るため、受け皿の整備、転入のための動機づくりが重要と考え、次の取り組みを講じる。

- ①市街化区域内にある農地や空き地、駐車場が住宅用地となるよう、民間の力を活用した取り組みを推進。
- ②子育て世代の流入を図る観点から、子育て支援の更なる充実、安心・安全なまちづくりの推進、交通の便の確保。
- ③都市計画の用途地域の見直しや地区計画策定による企業進出と雇用の場の確保の実現。

その他総合計画にうたっている重点施策を一つ一つ着実に実現できれば、厳しい目標であるが、決して不可能な数値ではないと考える。



住民説明会 (クリエイイト篠栗)

道州制を問う (町長としての課題 その1)

町長「否定的な立場をとらざるをえない」



大楠 英志

○人為的な道州の単位を作り、事務処理能力を基準に再編しても住民の愛着や誇りにならず、責任ある

は強制合併に近い方策がとられる。

○基礎自治体が人口30万人以上の中核市や20万人以上の特例市をイメージしており、実現するためには

が継承するの不明かにされていない。

○940兆円を超える国・地方の債務を誰か

○現状では道州制によつて一極集中が是正されず、ますます加速し地域間格差が拡大する。

使った平成大合併の検証が先になされるべきと考える。

自治は生まれぬ。これらの問題点について、国民的議論を行なわぬ道州制に移行することには、否定的な立場をとらざるをえない。

町長に道州制反対の理由を具体的に、説明を求め。

町長は町村の個性を維持したい。国が進める基礎自治体(30万人規模)が可能か、と疑問を投げかけられていた。「現時点では道州制に反対します」と意思を表明された。

国は道州制を推進しているが、私は道州制議論の前に合併特例債という、巨額な財源を

町長は「町長としての課題」「篠栗町の新しい個性の創造に向けた段階的な取組み」を説明された。

町長「否定的な立場をとらざるをえない」

町長「否定的な立場をとらざるをえない」

山間地域振興の方策は(その2)

町長「準備を進め策を練る」

問

山間地域振興について尋ねる。

地域の皆さんと会話を重ね、望まれる支援をと掲げている。

すでに山間地域の住民代表との集会をされたと聞いている。内容を尋ねる。

答【町長】

山間地区の区長や関係者の参加と、町長・副町長をはじめ関係課長・課長補佐、総勢28名で、水・有害鳥獣・交通・住環境整備・観光・産業・山林整備対策、電波の確保についてなど、意見交換を行い、非常に有意義な座談会となった。

問

山間地域活性化の方策を、今後どう進められるのか尋ねる。

答【町長】

世代間のギャップを考慮して現役世代の方など、さまざまな男女の方で座談会を開催しようとして準備を進めている。

山間地域の方がいきいきと生活して、子や孫たちも住み続けていける地域となるよう策を練る。

国との連携について(その3)

町長「情報をいち早く入手する」

休耕田に太陽光発電を導入する考えは

町長「少し勉強して報告する」



横山 久義

問

TPPに参加すれば、農業の打撃は深刻になり、さらに減反を求められる恐れがある。

そこで提案だが、休耕田を一時転用し太陽光発電事業を推進してはどうだろうか。そして、事業をスムーズに推進するため、転用の条件や手段を現実に即した内容に、町の権限でできるよう太陽光発電特区を申請してはいかがか。

答【町長】

「構造改革特別区域」

とは、地方公共団体が当該区域の特性に応じた特定事業をするものをいうことから、太陽光発電事業が本町においてそれに当たるか否かを検証する必要がある。

太陽光発電は代替のクリーンエネルギーとして取り組むべき重要な課題であると思いつが、もう少し勉強したいと思う。

問

特区構想は極論として、モデル的に町が事業主体となりメガソーラーをやったかどうか。具体的な案件をもって国にものを出す必要があるのでは。

答【町長】

休耕田を町でも利用してやったらどうかというところだが、もう少し勉強して報告したい。

バイオマスボイラーをゴミ処理施設で活用しては

町長「相当な改修費が必要」



バイオマスボイラー（オアシス篠栗）

問

オアシスのボイラーは木片チップのバイオマスボイラーに変更し、維持管理費が削減されている。

もしこの方式をゴミ処理施設に適用したかどうか。現在RDFを乾燥する過程で一日1万2千〜1万4千ℓの灯油を使用し年間3億円程を費やしてい

問

ボイラーの改良は目覚しく、チップでなく棒切った木材や竹を投入できるようだ。

もし実現すれば、燃料費の大幅削減や山林・竹林整備が進み、新たな雇用を生むと考えるが、町長の見解を求む。

答【町長】

クリーンパークの燃料を木質に切りかえれば、間伐材や竹等の有効利用が図られ、経費の削減に繋がるのではないかと考えている。

また、現在クリーンパークで受け入れていない剪定木等の持ち込みも可能になれば、住民サービスの向上にも繋がるかと考えている。

しかしダイオキシンの除去には、800℃の温度が必要である。高火力の燃焼装置にするには、相当の改修が必要である。今後、関係各町と協議しながら、施設組合において検討すべき事項だと考えている。

幼児期からの英語教育を望む

町長「一歩でも先行く努力をする」



荒牧 泰範

問.....

教育再生会議の提言を受け文部科学大臣が英語教育は小学校4年生ぐらいからと発言されている。インタビューを受けた街の声は1年生からでも良いのではと言つ意見もあった。日本人の英語力は一概には言えないが、留学・学術向けのトップ順位ではアジア圏30カ国中の最下位という結果もある。

き分けられないぞうだ。第5次総合計画でA-LT配置数を2名へ増員すると記されているが、英語をネイティブとする人から受ける教育は早ければ早いほど良いぞうだ。そこで、町立幼稚園において本物の英語に触れる機会を作り、幼少期から英語教育をしてグローバルな社会に対応できる人づくりをして頂きたいが如何か。総合計画にある人口目標達成のために、子を持つ若い世代が居住地として選んでもらえる町づくりの一環としても効果的と思われるので実現して頂きたいと思う。

答【町長】

現在の幼稚園教育は、幼児の健やかな成長のために、適当な環境で行うことを基本とし教

育をしている。

国の第2期教育振興基本計画に「グローバル人材等の育成」について答申しており、その提言を十分踏まえながら英語教育を検討していく。

まちづくりの観点からすれば、ご指摘のような部分で町のカラー

をつくり、「町はこんな

事をやっているのか、素晴らしい」と言つて頂く一つとして取り入れていけば、「ずっとここに住み続けようかな」と思つて頂け、定住率の増加につながると思う。

予算が伴う話であるので、どのような形に

していきけるか分からないが、ほかの自治体より一歩でも先にいくように努力して行きたいと思う。

あなたの写真を議会だより に載せてみませんか？

応募要領

- テーマ 今年度はこども中心の写真です。
- 応募方法
 - ①作品はすべてプリントしたもの。(カラーのみ)
 - ②サイズ/L判~A4程度
 - ③撮影場所、日付、写真説明(タイトル含む)、住所、氏名、電話番号を明記。
- 応募上の注意
 - ①作品は自作・未発表のものに限ります。
 - ②作品は原則として返却しません。
 - ③人物の場合、必ず本人の同意を得てください。当発行者は肖像権等の責任は負いかねます。
 - ④採用された作品の著作権は、発行者に帰属し、出版物、ホームページなどで使用します。
- 送付先

篠栗町議会まで郵送ください。
(問い合わせ先は、役場3F 議会事務局まで)

輝くまちの宝



藤 三千代さん



大藤 絹代さん



米丸 翔一郎さん

地域の方も先生に

小学校プール授業

写真は、6月末の篠栗小学校の3・4年生および1年生の水泳授業の風景です。

3・4年生の授業では、篠栗町体育協会水泳部会の方々が、ゲストティーチャーとしてボランティアで指導されています。この活動は、基礎的な泳力向上や水泳普及等を目的に7年前から始められ、現在4名の方が町内3小学校（萩尾分校含む）で活動されています。子どもたちは、それぞれグループに分かれ、きめ細かい指導を受けながら、のびのびと泳いでいます。



萩尾 武紀さん

旬花衆灯

議会広報委員会委員に選任され、早くも2年が経ちました。このたび委員長が交代して、新体制での編集作業となりました。皆さま紙面を読んでいて「あれっ?」と思われるではありませんか。

6月議会号から文体を、「です」ます」調から「である」調に変更しました。特に一般質問の記事は自分の言葉じゃないような気がします。

これは、広報委員会の視察研修を終え、議会広報の改善点を検討した結果、変更したものです。良いものは吸収し、できることから変えていきたいと思えます。これからも、分かりやすく、読みやすい議会だよりの編集に取り組んでまいります。

飯田 浩二

9月議会は

9/9月 開会

9/11水 一般質問

の予定です

発行責任者 議長 今泉 正敏

議会広報編集特別委員会 委員長 今長谷武和 / 副委員長 飯田浩二
委員 後藤百合子・松田國守・大楠英志・村瀬敬太郎

平成25年8月1日発行

発行 / 篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町大字篠栗4855-5 TEL092-947-1111 FAX092-947-1442 印刷 / 株式会社三光